

授業の様子

導入では暑中見舞いやかもめ～るについて学びました。

先生が黒板に描いていく順番通りに朝顔の絵を描き、切り抜かれた折り紙の葉っぱを貼り、さらに蔓や茎を描いていきます。絵が描けたら余白に伝えたいことを書きました。

「できあがって嬉しい。」「また書きたい。」「出す人に心が伝わるといった感想が発表されました。

先生の感想

手紙を書いていると、子どもたちはとても良い表情になります。

「だれかのために」という素敵な経験を、手紙授業を通して経験させることができます。



授業の様子

当日は授業参観日ということもあり、多くの保護者の方が見守る中、授業は行われました。

「手紙の書き方体験授業」テキストに沿って、「誰に出すか」「どんなお手紙をもらったことがあるか」などを考え、「お手紙をもらおうと嬉しい。」から「うれしい気持ちになるお手紙を書きましょう。」と確認しました。

はがきの裏面の書き方について指導を受けながら、実際に書き、書き終わった児童には発表もしてもらいました。どのはがきもステキな内容ばかりで、拍手喝采でした。

先生の感想

担任自身も手紙になじみが薄くなってきているので、手紙やはがきについてきちんと学べるテキストや指導書があると助かります。



授業の様子

2年生4クラス各クラスそれぞれ、運動会の招待状を書いたり、郵便の流れについて学んだり、ポストマップを作ったりと、にぎやかに授業が行われていました。

あるクラスでは、質問コーナーが設けられ、「どうして切手のある(印刷されている)はがきとそうでないはがきがあるのですか?」「切手は、お手紙が届くまでにはがれないのですか?」など、多くの質問に対して、授業を見学していた郵便事業(株)社員が回答しました。

先生の感想

今日はたくさんの方々にご参観いただきまして、子どもたちもとても楽しんで授業を受けていました。早速、学校帰りにはがきをポストに出したいという児童もおりました。このご縁を大切にさせていただければ幸いです。



授業の様子

「手紙ってどんなことができる?」という根本的な話や、年賀状の歴史、季節ごとのおたよりについて学び、はがきをかきました。

「折り紙を貼りたい。」「教育実習に来ている先生に出したい。」など、児童たちは工夫をこらしてかいていました。

先生の感想

「手紙の書き方体験授業」テキストにお手本がたくさんあるので、児童たちも参考にできてよかったです。



授業の様子

「手紙の書き方体験授業」テキストに沿って、「誰に伝えるか」「何を伝えるか」を考えました。

先生からの、「はがきの裏面に“花火”を描こう。」の提案に対し、児童たちからは「描けないよ。」という声も挙がりましたが、先生の言うとおりに描いていくと、みんな上手に花火が描け、夏らしいお手紙の完成に児童たちは満足そうでした。

先生の感想

「何を伝えるか」ということに関しては、「すぐに思いつかなくてもいい。すぐに書けるお手紙もあれば、よく考えて書くお手紙もあります。」と伝えることによって、すぐに考えがまとまらない児童の助けになったと思います。

